

遠隔授業のすすめ

倉敷市立精思高等学校
土肥 直樹

自己紹介

岡山県立倉敷青陵高校	教諭
岡山県立鳥城高校	教諭
岡山県立精研高校	教諭
情報教育センター	指導主事
総合教育センター	指導主事
倉敷市立精思高校	教諭
岡山県立岡山聾学校	教頭
総合教育センター	情報教育部部長
倉敷市立精思高校	校長



本当の専門は
理科（生物）

自己紹介

岡山県立倉敷青陵高校	教諭
岡山県立鳥城高校	教諭
岡山県立精研高校	教諭
情報教育センター	指導主事
総合教育センター	指導主事
倉敷市立精思高校	教諭
岡山県立岡山聾学校	教頭
総合教育センター	部長
倉敷市立精思高校	校長

今日の話はここで
取り組んだことが
中心
(15年~20年前くらい)

遠隔授業との出会い

- ・「こねっとプラン」(You are the one.)
- ・へき地学校高度情報通信設備(マルチメディア)活用方法研究開発事業(平成11年~平成13年)【文科省】
- ・I S D N回線を使ったT V会議
(128kbps~384kbps)

電話2~6回線分
品質は安定
H.320という規格

遠隔授業との出会い

- ・3県連携交流事業(平成16年~平成18年)【岡山県】
- ・L A Nやインターネットを使ったT V会議(384kbps~)品質の保証がないルータを超えることができない(同じネットワーク内)H.323という規格
- ・J G N II (N I C T)を活用したT V会議(約60Mbps)高品位のT V会議(高画質、遅延もほぼない)D V over I Pという規格

私の経験した遠隔授業

【精研高校】日本原高校、中川小学校、岡山聾学校、大原美術館、大倉庫(岡山)大師高校(神奈川)、新川高校(北海道)、小笠原高校、東京農業大学ライオン(株)、東陶機器(株)、厚生労働省(東京)、千日町小学校(新潟)、ヘンセルポール高校(アメリカ)、テマセクポリテクニック校(シンガポール)・・・

【瀬戸南高校】倉吉農業高校(鳥取)、人と自然の博物館(兵庫)【倉敷中央高校】鳥取聾学校(鳥取)

【玉島北中学校】船岡中学校(鳥取)

【吉野小学校(作東町)】兵庫県立大学ほか

【倉敷天城高校】昭和墓地(南極)【操明小学校】ケニア

【精思高校】倉敷翔南高校(岡山)

実践したこと

実は・・・



私は授業していないのです。

- ・ 機器設定やネットワーク管理
- ・ 企画の提案

実践したこと

精研高校 ↔ 日本原高校 (H11~H13)

家庭・食物、食品「チーズ・ジャムづくり」(精研へ)

- ・ 日本原高校の農業教員が授業
- ・ 10時間程度/年
- ・ 学科間を超えた専門性の高まり
- ・ 食品に対する好奇心の向上
- ・ オンライン、オフラインによる教員間、教員-生徒のつながり



実践したこと

精研高校 ↔ 日本原高校 (H11~H13)

家庭・課題研究「手話」(日本原へ)

- ・ 精研の家庭科教員が授業
- ・ 1年を通して
- ・ 自校で実施できない学習
- ・ 動作の必要な学習でも可能
- ・ 制限があることで伝えようとする意識
- ・ オフラインの授業で感動



実践したこと

玉島北中学校 ↔ 船岡中学校(鳥取) (H16)

社会「山陰と瀬戸内の気候の違い」

- ・ DV over IPを使った実践
- ・ 他校への発表をわかりやすく工夫
- ・ 実物を見ることによる深まり
- ・ コミュニケーション能力の高まり
- ・ 授業以外での関わり合い



まとめ

遠隔授業によって

地域・地域外の教育資源を活用できるようになる。

- ・ 授業の設計をしっかりと(トラブルも想定して)
- ・ 交渉力をつける(相手の仕事を中断することも)
- ・ 打ち合わせを入念に(ねらいは何か)

まとめ

コロナ禍でリモートが普及

- ・ 特別な機械は必要なく簡単に接続
 - 機器の操作は自分でできる
- ・ 無償で使用できるものもある
 - 遠慮せずどうぞ
- ・ 一般にも普通に使っている
 - どこからでもだれとでも

さいごに

4. 展望

今回の事業は、ほとんどの授業を 384kbps の電話回線で接続することにより、映像の動きもスムーズで、音のとぎれのない授業実践ができた。しかしながら、それに関わる通信費も莫大(100～200万円/年間)であった。

特別な場所だけでなく、一般的な家庭まで広帯域な回線が導入されるブロードバンド時代がすでにやっけてきている。やがて、インターネット経由でのTV会議システムが安定し、低コストで誰でも利用できるようになってくるであろう。

本事業は、特別な環境にある特別な学校での取り組みではなく、それに先がけて行った試行的な取り組みとして見ていただきたい。

平成11・12・13年度へき地学校高度情報通信設備（マルチメディア）活用方法研究開発事業成果発表会資料より

ご清聴ありがとうございました